

子どもの社会化過程と運動遊び

綿田 育代
(日本大学)

田中 鎮雄
(日本大学)

門脇 春男
(日本大学)

桃沢 聖子
(日本大学)

木村 多喜
(日本大学)

武田 正司
(日本大学)

社会化過程、運動遊び、幼児

1. 目的

田中¹⁾²⁾は、高校生のスポーツの社会化に関する調査研究を試み、わが国の女性のスポーツ参加が飛躍的な伸びを示しながらも、発達段階の早い時期から重要な他者(significant others)による性の型づけ(sex typing)が行われ、このことが、女性のスポーツ参加を消極的にさせる社会的風土形成の一要因となっていることを示唆している。また武田³⁾は、上の研究¹⁾²⁾をふまえ、高校の課外スポーツクラブ員は、男女いずれもスポーツに対する好意的な先有傾向(predisposition)⁴⁾を就学前から形成・発達させてきている点を明らかにしている。

本研究は、先行諸研究の結果¹⁾²⁾³⁾をふまえながら観察対象を就学前の4・5歳児に限定した調査分析をとおして、武田³⁾の知見をいっそう明確に解明しようとする意図したものである。すなわち、親の目からみた「運動遊びを含む幼児の社会化過程の実態と理想像」を明らかにするとともに、男女児の運動遊びの傾向とそれに対する親の期待の分析をとおして、子どものスポーツ的社会化過程の一端を明らかにしようとしたのが本研究の目的である。

II. 方法

1. 調査対象：東京都内の幼稚園児の母親。園児およびその母親の年齢は表1および表2に示すとおりである。

表1 子どもの年齢

年齢 \ 性別	男児	女児
4 歳	172 (32.6)	168 (34.9)
5 歳	355 (67.4)	313 (65.1)
合計	527 (100.0)	481 (100.0)

表2 母親の年齢

年齢 \ 性別	男児	女児
10 歳代	1 (0.2)	0 (0.0)
20 歳代	53 (10.1)	75 (15.6)
30 歳代	443 (84.1)	375 (78.0)
40 歳代	29 (5.5)	31 (6.4)
50 歳代	1 (0.2)	0 (0.0)
合計	527 (100.0)	481 (100.0)

2. 調査方法：質問紙法
3. 調査時期：昭和62年5月～7月
4. 有効回収数：1,008 (男児527、女児481)
有効回収率：76.1%
5. 質問紙の構成：

質問紙は、幼児の行動傾向を勉強、運動遊び、情操、しつけの4つのカテゴリー(25項目)でとらえ、同じカテゴリー(25項目)に対する母親の期待というかたちで、就学時までの行動変容を調査できるように項目を構成した(表3参照)。

なお、これら50項目それぞれに対する回答は「全くその通り」(5)、「それに近い」(4)、「どちらともいえない」(3)、「その反対に近い」(2)、「その反対」(1)の5件法で求めた(ただし、項目5および項目10は、「全くその通り」(5)または「その反対」(1)のいずれかに回答するようになっている)。

フェイスシートは、幼児の「年齢」・「在園年数」・「進学予定」・「健康状態」、および母親の「年齢」・「最終学歴」・「運動部経験の有無」・「スポーツ参加状況」・「スポーツクラブへの所属状況」・「おけいこごとの経験の有無」・「塾通いの経験の有無」から成り立っている。

6. データ処理：

日本大学文学部コンピューターセンターIBM4331 LO2、プログラム「SPSS」、サブプログラム「CROSSTABS」および「T-TEST」で行った。

III. 結果と考察

1. 幼児の行動傾向と親の期待感との関係

表3は、幼児の行動傾向に対する母親の認知(以下、現状とよぶ)および幼児の就学時までの行動変容に対する母親の期待水準(以下、期待とよぶ)の50項目について平均と標準偏差を表わし、男女児の差(表3の太線枠内)と、対応する各項目間の差の有無をt検定で確認した結果が示されている。「勉強」、「運動遊び」、「情操」および「しつけ」の4つのカテゴリーごとに性差を中心に以下、考察をすすめる。

- 1) 勉強(知的発達等)について

表3の知的発達ないしは知的欲求に関するカテゴリーをみると、項目1～4の現状および項目26～29の期待にみるとおり、絵本をみること、書いたり作ったりすること、数字や文字を覚えること、本を読んでもらうことは、「現状」および「期待」の平均値がいずれも5と4の間にあり、4・5歳児の知的発達状況は一応望ましい状態にあることがわかる。しかし、親の期待は現状認知を上まわり、女児の知的水準が男児よりも有意に高いことが注目される。

表3 幼児の行動傾向と親の期待感との関係

項目	目	男児(項目間の比較)			女児(項目間の比較)			t検定 (男女児間の比較)	
		M	SD	t検定	M	SD	t検定		
勉	1	絵本を見るのが大好きです	4.260	0.791	***	4.491	0.713	***	
	26	新しい絵本をすすんで読む子であってほしい	4.520	0.732		4.632	0.596		**
	27	絵を書いたり物を作ったりするのが大好きです	4.076	1.040		4.428	0.798		***
強	3	数字や文字を自分から覚えようとしています	3.945	1.148	***	4.322	0.912	***	
	28	数字や文字を自分から覚えようとする子であってほしい	4.658	0.611		4.622	0.641		***
	4	本を読んでもらうことが大好きです	4.518	0.765		4.682	0.596		***
運	6	戸外で遊ぶことが大好きです	4.569	0.742	***	4.586	0.675	***	
	31	戸外で遊ぶことが大好きな子であってほしい	4.867	0.367		4.811	0.437		*
	7	友だちと活発な遊びをすることが大好きです	4.400	0.850		4.254	0.896		**
遊	32	友だちと活発な遊びをすることが大好きな子であってほしい	4.786	0.479	***	4.655	0.607	***	
	8	新しい運動やスポーツに強い興味を示します	3.547	1.072	***	3.765	0.996	**	
	33	新しい運動やスポーツに興味の持てる子であってほしい	4.628	0.637		4.547	0.679		*
9	親子で一緒に運動やスポーツを行っています	2.947	1.174	2.796		1.173	*		
び	34	親子の運動遊びをリードできる子であってほしい	4.251	0.791	***	4.004	0.851	***	
	10	スポーツ教室やスポーツクラブに通っています	3.034	2.002	***	2.830	1.995	***	
	35	スポーツ教室やスポーツクラブにすすんで通う子であってほしい	3.772	1.061		3.520	1.039		***
11	家族や友だちにやさしい心づかいができます	4.178	0.721	4.160		0.708	***		
情	36	家族や友だちにやさしい心づかいができる子であってほしい	4.911	0.305	***	4.915	0.294	***	
	12	親子一緒にいつも楽しく遊んでいます	3.693	0.852	***	3.630	0.804	***	
	37	親子一緒にいつも楽しく遊べる子であってほしい	4.395	0.794		4.329	0.819		***
13	小鳥や犬・猫などをよくかわいがります	3.615	1.029	3.744		1.052	*		
操	38	小鳥や犬・猫などをよくかわいがる子であってほしい	4.514	0.708	***	4.505	0.707	***	
	14	木々の緑や草花が大好きです	3.714	0.921	***	4.214	0.830	***	
	39	木々の緑や草花が大好きな子であってほしい	4.554	0.664		4.713	0.545		***
15	音楽を聞いたり歌ったりするのが大好きです	3.922	0.967	4.499		0.750	***		
し	40	音楽を聞いたり歌ったりするのが大好きな子であってほしい	4.344	0.803	***	4.618	0.645	***	
	16	「男の子らしい遊び」「女の子らしい遊び」をしています	4.313	0.840	***	4.052	0.917	***	
	41	「男の子らしい遊び」「女の子らしい遊び」をする子であってほしい	4.490	0.760		3.590	0.878		***
17	あいさつや返事がしっかりできます	3.742	0.888	3.832		0.889	***		
つ	42	あいさつや返事がしっかりできる子であってほしい	4.909	0.319	***	4.902	0.324	***	
	18	整理整頓がかなりできます	2.972	0.999	***	3.231	1.008	***	
	43	整理整頓がしっかりできる子であってほしい	4.685	0.558		4.751	0.521		***
19	ひとりで身じたくをしようとしています	4.131	0.906	4.395		0.818	***		
け	44	ひとりで身じたくができる子であってほしい	4.873	0.356	***	4.865	0.398	***	
	20	お手伝いをすすんでします	3.448	0.950	***	3.915	0.846	***	
	45	お手伝いをすすんでする子であってほしい	4.482	0.664		4.636	0.597		***
21	食べ物の好き嫌いはい少ない方です	3.175	1.397	3.293		1.357	***		
け	46	食べ物に好き嫌いがない子であってほしい	4.795	0.578	***	4.734	0.686	***	
	22	缶ジュースなどは自由勝手に飲んでいません	4.381	0.995	***	4.547	0.898	**	
	47	缶ジュースなどを自由勝手に飲まない子であってほしい	4.454	0.948		4.460	0.978		*
23	テレビの番組は勝手気ままに見ていません	3.564	1.250	3.728		1.204	*		
け	48	テレビの番組は決めて見る子であってほしい	4.510	0.727	***	4.422	0.841	***	
	24	ファミコンやゲームウォッチには熱中していません	3.374	1.486	***	4.487	1.000	***	
	49	ファミコンやゲームウォッチに熱中しすぎない子であってほしい	4.442	0.885		4.412	0.927		***
25	家族と一緒に夜おそくまで起きていません	4.082	1.206	4.125		1.125	***		
50	夜ふかしをしない子であってほしい	4.676	0.649	***	4.717	0.598	***		

t検定の有意水準

* : 0.5水準
 ** : 1水準
 *** : 0.1水準

一方、学習塾通いについてみると、表4（現状）と表5（期待）および表3の項目5・30から明らかとなり、現在ではまだ学習塾に通っている子どもは少ないが、就学時では「どちらともいえない」(3)と回答するものが約半数にものぼり、小学校入学以降の学習塾通いの過熱化現象を暗示しているようである。

表4 進学準備のために塾に通っています

項目	性別	男児	女児
全くその通り		22 (4.2)	27 (5.6)
その反対		505 (95.8)	454 (94.4)
合計		527 (100.0)	481 (100.0)

表5 進学準備のためにすすんで塾に通う子であってほしい

項目	性別	男児	女児
全くその通り		27 (5.2)	10 (2.1)
その考えに近い		36 (6.8)	21 (4.4)
どちらとも		271 (51.4)	246 (51.1)
その反対に近い		46 (8.7)	57 (11.9)
その反対		147 (27.9)	147 (30.6)
合計		527 (100.0)	481 (100.0)

2) 運動遊びの傾向について

表3の項目6・31の「戸外遊び」および項目7・32の「友だちとの活発な遊び」についてみると、男女児ともに活発な戸外遊びやグループでの遊びがある程度みられる中で、これを現在以上に行うようにさせたいとする親の態度がみられるとともに、とくに男児の親にその期待が大きいことが明らかである。また、項目8・33の「新しい運動やスポーツに対する興味」および項目9・34の「親子での運動・スポーツ」についてみると、男女児ともしいにスポーツに興味を示してくる反面、親子一緒にスポーツ活動が低調な中で、母親は男女児のいずれにも一層の積極化を望む態度が読みとれる。特に男児の親にその期待感の強いことに注目すべきであろう。表6および表3の項目35は、小学校入学時点でのスポーツ教室・クラブ加入に対する親の期待をみたものであるが、まだスポーツ教室等への参加が少ないものの、男女児いずれの場合も、親は就学時までにはもう少し現状を改善しなければならぬと考えているようである。

表6 スポーツ教室やスポーツクラブにすすんで通う子であってほしい

項目	性別	男児	女児
全くその通り		165 (31.3)	106 (22.0)
その考えに近い		138 (26.2)	105 (21.8)
どちらとも		187 (35.5)	229 (47.6)
その反対に近い		13 (2.5)	15 (3.2)
その反対		24 (4.6)	26 (5.4)
合計		527 (100.0)	481 (100.0)

3) 情操面の発達について

表3の項目11~15および項目36~40の情操面についてみると、男女児ともに家族や友人に対する親愛の傾向が認められ、自然の美しさや音楽に対する美的感覚やリズム感覚を豊かにしていく可能性が読みとれる。情操面の発達に対する親の期待はいずれの項目でもかなり大きく、美的・音楽的情操の発達に対する期待は、女児の場合とくに大きい傾向が認められる。

4) しつけの現状と改善期待

表3の項目17~20および項目42~45の「あいさつや返事」、「整理整頓」、「ひとりで身じたく」、「お手伝い」の項目に注目してみると、男女児とも整理整頓が苦手であり、男児はお手伝いをあまりせず、あいさつや返事は男女児ともまだまだといった感じである。しかし、しつけに対する期待水準は全般的に高い中で、とくにあいさつや返事のできる素直な子を強く望む親の多いことが注目される。大体、自分で身じたくのできる子が多く、一層その傾向を押し進めたいとする親の気持ちは、この調査からも十分に理解できて興味深い。

表3の項目21~25および項目46~50は、子どものしつけを放任の観点からみたものである。「食べ物の好き嫌い」、「缶ジュース等の自由飲食」、「テレビ視聴の放任」、「ファミコン等の放任」、「夜ふかし」などに対して親はしつけをきびしくしようとする様子が読みとれる。しかし、男女児いずれにもみられる食べ物の好き嫌い、テレビの見過ぎの傾向や男児でファミコン等に熱中する傾向のある子が実際にはかなりの数にのぼるものとみられるのである。

このような親のしつけ傾向がみられる中で、表7から、遊び方に目を転じてみると、男女児いずれも男の子らしい遊び、または女の子らしい遊びを行っていることが明らかであり、とくに男児にその傾向が強い。しかし、これを親の「期待」(表8)からみると、男児の親はいつそう「男の子らしい遊び」をする子であってほしいと願っているのに対し、女児の親は逆に「どちらともいえない」(3)に回答する者が多い点が注目される。このような女児の遊びに対する親の反応が何を意味するものであるかについては今後改めて研究を試みるつもりである。

表7 「男の子らしい遊び」「女の子らしい遊び」をしています

項目	性別	男児	女児
全くその通り		273 (51.8)	187 (38.9)
その考えに近い		162 (30.7)	157 (32.6)
どちらとも		81 (15.4)	115 (23.9)
その反対に近い		6 (1.1)	19 (4.0)
その反対		5 (1.0)	3 (0.6)
合計		527 (100.0)	481 (100.0)

表8 「男の子らしい遊び」「女の子らしい遊び」をする子であってほしい

項目	性別	男児	女児
全くその通り		336 (63.8)	100 (20.8)
その考えに近い		119 (22.6)	108 (22.5)
どちらとも		68 (12.9)	252 (52.4)
その反対に近い		2 (0.4)	18 (3.7)
その反対		2 (0.4)	3 (0.6)
合計		527 (100.0)	481 (100.0)

2. スイミングクラブに通う園児の行動傾向と親の期待感との関係
表9は、スイミングクラブへの加入率を男女別に示したものである。

表9 スポーツ教室やスポーツクラブに通っています

項目	性別	
	男児	女児
全くその通り	268 (50.9)	220 (45.7)
その反対	259 (49.1)	261 (54.3)
合計	527 (100.0)	481 (100.0)

男女別にスイミングクラブに通う園児とその他の園児との比較分析を試み、有意差の認められた項目についてみると表10のとおりである。表10の項目6、7、9、35に注目すると、スイミングクラブに通う園児は、男児女児のいずれの場合も戸外での遊びやグループでの遊びが活発な反面、親子一緒に運動遊びはあまり行われていないのが実情である。しかも、今後のスポーツ教室・クラブ参加を望む親が男児女児いずれもクラブ参加児に有意に多い点が注目される。また、スイミングクラブに通っていない女児に、女の子らしい遊びをする傾向が有意に認められることも見逃せない。このことは資料として注目しておきたい。

IV、要約と結論

東京都内の幼稚園児の母親1,008名を対象に子どもの社会化過程と運動遊びについて調査分析した結果、次のような知見を得た。

1) 4・5歳児の社会化過程を知的発達、情緒的発達、運動遊びおよび基本的しつけの面からみると、親の現状認知と発達期待

からみる限り、女児には知的発達とくに情緒的発達、男児には運動遊びなどの活動性の発達傾向が注目される。

2) また、同じように幼稚園に通う子であっても、スイミングクラブに通う子は男女児を問わず運動遊びが活発化する傾向を示し、その親たちも就学後にスポーツ教室、スポーツクラブ等への加入を志向するなどきわめて興味深い知見が得られた。

今後は、幼児の社会化過程におけるスポーツの社会化促進の機能について研究を進めたいと考えている。

V、文献

- 1) 田中鎮雄：「わが国における社会的風土と女性のスポーツ行動」、日本大学人文科学研究紀要第30号、1985、pp. 263～278
- 2) 田中鎮雄：「わが国における社会的風土と女性のスポーツ行動(Ⅱ)－Sport Climate Inventory 適用の試み－」、日本大学人文科学研究紀要第33号、1987、pp. 367～378
- 3) 武田正司、田中鎮雄、梶沢聖子、綿田育代：「高校生にみる社会化過程と課外クラブの選考」、レクリエーション研究第17号に投稿中
- 4) 飽戸 弘：「態度構造研究の方法論に関する諸問題－要因分析との関連を中心に－」、『心理学評論』、Vol. 9、No. 2、1965、pp. 267～288

表10 スイミングクラブに通う園児の行動傾向と親の期待感との関係

項目	日	男児				t検定	女児				t検定
		スイミングクラブ参加児		スイミングクラブ非参加児			スイミングクラブ参加児		スイミングクラブ非参加児		
		M	S D	M	S D		M	S D	M	S D	
勉強	3	数字や文字を自分から覚えようとしています									
	28	数字や文字を自分から覚えようとする子であってほしい									
運動	6	戸外で遊ぶことが大好きです									
	7	友だちと活発な遊びをすることが大好きです									
遊び	9	親子で一緒に運動やスポーツを行っています									
	35	スポーツ教室やスポーツクラブにすすんで通う子であってほしい									
情緒	36	家族や友だちにやさしいづかいができる子であってほしい									
	13	小鳥や犬・猫などをよくかわいがります									
操	15	音楽を聞いたり歌ったりするのが大好きです									
	10	音楽を聞いたり歌ったりするのが大好きな子であってほしい									
しつけ	16	「男の子らしい遊び」「女の子らしい遊び」をしています									

t 検定の有意水準 * : 0.5%水準
** : 1%水準
*** : 0.1%水準